

【刊夕日一十三月七】



原五紙郵錢十五月一錢貳金部一價定
錢十五行一語字三十號五料告廣
日登ノ日祝祭大曜日日刊休
治文特川人刷印人輯編兼行發
五三町橋長町平郡城石縣島佛
番〇三六話電 社館新日每磐常 所行發

平文壇一巡り

(四)

◇創作及俳句の人々
南部修太郎、龍道寺雄等と共に三田派の文士として平松幹夫があるが同名異人でない限り平の人だ、現在短篇物で名を知られつつあるそれから不同調一派で鳴らした、オロ派の雄淺原六朗の母堂が小島山麓の墓地に永眠してゐる事である、聞けば川崎本社長が友人淺原に代つて墓参してゐるさうでこれなどは知らない人が多からう、林房雄の「都會双曲線」に「常磐線は古い鐵道」で「一時代前の速力で汽車がはぶ」のである如く平文壇の現在に遅々として振はない只童話で名を馳せてゐる川崎小島は何と云つてもなくならない人だ、その進めとかいふ文藝雜誌の短篇物で入選してゐる且野八千代(草笛)と夕月輝子の兩人以外記者寮閉にして聞いてない、且野八千代は現在「詩南車」に澤山書いてゐる

がこの人は何を書いてゐるが、器用な人だ、これを何か一つに情熱を纏めたらと思はない事もないが先づ將來期待出来る人であらう、詩南車には中木良一か素直ない、短篇を書いてゐた、林總一郎のも一寸よかつた岡由圓志雄、小沼文彦、鈴木勇等も天々の持ち前を持つてゐた、只夕月輝子はその後さつぱり見えないのは惜しくてならないが、或ひは名を變へて澄ましてゐるのかも知れない、一體に詩南車の人々を詩人の歌人の創作家のと判然させるの一寸困る事があるから此の程度にしておく、その他の社は失禮して次に俳人の方を覗いてみる。

現在平俳壇に三つの俳人社がある最も古いのが高月會で酒井耕影を初め警中警女教諭連の俳人達が集つて成つたものだ、山口光風、中柴光顯、只野閑月、山部揚臺此の外萩野天仙がある、赤羽松堂の主宰する潮聲會は一昨年の夏に成つたものだが高久曉霞、勝見萬袋、片寄文志樓、鈴木北窓、藤江亭、天田目十里、本多朝忠、柴田羊臺等の人々がゐる、渡邊何鳴の主宰する萍生會といふのがあつたが此會員は前二會の一部の人々である潮聲會から俳誌「潮聲」が出て既に甘藷を重ねてゐる事は特記に値ひするそれから警城炭礦に皆川二樓がある「詩南車」には瀬谷一夢、佐川滿壽莊、矢鳥蘭外、高木風外等の名も見えるやうだ、俳句の性質上之をする人が中老以上の人が多いのは當然である、血氣盛りの青年が古池やもやつてゐられないらしい……

常磐文藝

萍生山房雜詠

渡邊何鳴

△くもの圍の吹かるゝまゝに帳られけり
△夏百日異端の衆に交らず
△夏百日他力の衆にかゝはらず
△鮎鮎にこの郷の言葉面白し

無料眼鏡

STOKIWAYA

眼鏡……遠見視力検査表を無代で進呈!!

無料検眼開設致シマシタ
専門眼科醫師擔任

御客様本位……
……良品廉賣
……商品豊富
……親切丁寧
……即時調整
……示度正確
……近視老視乱視斜視遠視

無料検眼券御利用下さい
眼鏡部 電話三三九

平町一丁目 常盤屋時計店

◇三十一日寫眞替り◇

此の結合こそ眞に映畫の粹
松竹提供・右太プロ名作 市川右太衛門・鈴木澄子熱演
宿命劍史 足輕劍法 全
高堂國典、伊田兼美、伏見右女子、梅田菊藏
松竹蒲田獨占名畫 高田稔・田中絹代主演
ユーモア 大學は出たけれど 全
飯田蝶子、鈴木歌子助演
日活超特作時代映畫 片岡千恵藏・氣鋭の熱演
連 續 風雲天滿双紙 第二 完結篇
市川小文治・瀨川路三郎・山田五十鈴・衣笠淳子助演
御入場料 普通席二〇〇 特等席四〇 日活平館 電話四
壹等席三〇〇

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

タクシへの御用命は
何卒 昭和タクシへ
……(料金低廉)……
平驛前
電三四三番

本日より
柳川井(御一人前) 金四十錢
柳川なべ(全) 金卅五錢
相始めました共に不相變御負の程願ひ上げます
▽……出前迅速……△
牛鳥料理 石川亭
電話四三番

開業廣告

今般共融社ヲ設立左ノ業務ヲ取扱ヘマスニ付御用命ヲ希上マス

金融、土地建物、電話其他ノ仲介、
貸金の取立及賣掛代金整理
……
家出人ノ捜査婚姻其他ノ身本内債
……
本社 石城郡平町字十五丁目十二番地

共融社

元平警察署刑事係部長 主幹 青田保太
電話(呼出)八〇四番

伊藤鑛業所長の 官僚的遣り方に 不平を持つ社員が多い

解雇手當は十四日分

遂に休山を發表するに至つた石城郡警備村藤原二井炭礦は大體左記の規定に依つて解雇従業員に涙金を贈る事になつたが伊藤鑛業所長は休山に關しては本所から來山せる藤原重役と坂本本社員とのみにて忍かに協議を重ね山元の社員は一名も此の協議に参加せしめず極秘裡に決行せる由にて其の官僚的な遣り方に不平を持つ者が多い

一、解雇手當は日給の十四日分とする
二、歸國旅費八月十五日迄に退山するものに對し左の通り支給す(旅費五圓以内は即時支給、五圓以上は歸國後役場の證明に依り支給す)
三、休業手當は廿六日より卅日までの五日間左の通り支給す、其の後は支給せず(イ)獨身者は四十錢(ロ)夫婦者は六十錢(ハ)家族のある者は九十錢
四、季末賞與一人當り三圓支給す

約十一萬圓

休山の負擔

三井炭礦が休山の爲めに負擔する事になつた涙金の總金額は十萬六千三百圓でその内譯左記の如くである

(退職手當)四萬九千圓、(解雇手當)二萬三千七百

平局の

移廳式遅る

多分十日頃か
中郵便局の新廳舎移轉は八月初めの豫定であつたが動力線其他の部分工事未だ完了せず多分十日頃になるであらうと

監督者會議

警察事務統一

荒井平警察署長は着任以來署員の訓練上に種々の新計劃を立て事務の刷新を大いに圖る所あり流石は多年警察界に在つて苦勞した老巧丈に違つたものと肯かしまる點が多いが、更に又今回案をたて、毎月二回宛第一及び第三の兩土曜日午後零時から署内の監督者會議を開いて監督上の統一、巡查の教養、警察事務の改善等に就ての諸施設を圖る事

平町で小柳知事が

國産品獎勵の講演

となつた議長には荒井署長自から當り副議長に鯨岡次席警部補と云ふ事になつて居るがソバでもス、リなが

ら特ぬきで互に相談を試みやうと云ふ處に署長のくだけた思ひやりがある

映畫も見せて

本縣では國産品愛用獎勵のため來る十二日平町第三小學校に於て之に關する講演が午後一時から、映畫が七時からある筈であるが講師は小柳知事、後藤磯谷兩商工省書記官である

無料の點燈

手數料も値下

東部電力中營業所には五十年記念の名目で休燈料月額十五錢を十錢に廢燈料一燈につき一圓を六十錢にそれれ、値下し休燈手數料十錢と燈力變更手數料を撤廢した外に電球引換料を値下

監督者會議

警察事務統一

荒井平警察署長は着任以來署員の訓練上に種々の新計劃を立て事務の刷新を大いに圖る所あり流石は多年警察界に在つて苦勞した老巧丈に違つたものと肯かしまる點が多いが、更に又今回案をたて、毎月二回宛第一及び第三の兩土曜日午後零時から署内の監督者會議を開いて監督上の統一、巡查の教養、警察事務の改善等に就ての諸施設を圖る事

夏休と心得

學校から家庭へ

平町の小學兒童が待ちに待

一雨で一萬五千圓

昨日の被害總額

昨日石城郡の海岸地帯は荒れ氣味となり既記の如く小名濱の棧橋が墜落せる外江名濱にては護岸約十間が崩壊し、附近民家二十餘軒は波浪の襲ふ所となつて大騒ぎを演じ六七隻の漁船は折角大漁であるのに入港する事が出来ず沖合に避難して波の鎮るを待つ等其他海岸にも被害ある見込みであるが山の手にては上遠野瀧地内の表橋及び勿來縣道の京田橋外二ヶ所の橋が流失し

崩壊し

て附近民家

六ヶ所の破壊あり平土木監督所管内の被害見積りは一萬五千圓に達すると

四、倉修築陳情
木村代議士其他
四倉漁港修築問題はこの地方民多年の要望であるが未だにその實現を見ないため昨日午前十時新妻四倉町長鈴木、古川、山崎三縣議及木村代議士出席して淺見土木課長、金森内務部長と會見し是非明年年度豫算に計上修築實施方を陳情し本日歸平の筈

腹掛けの中で

ダイナマイト爆發

坑夫が木ツ葉微塵

石城郡勿來町大字出倉大日本炭礦勿來坑夫高橋源一郎(三)は昨日午後二時頃坑内に於て作業中腹掛のドンブリにダイナマイトを三本入れて置いた事を失念し懷中電燈を突き込みたる爲め大爆發して體は木ツ葉微塵に粉碎したと

平町人事

出生

△仲間町一六 曾我新太郎氏五男昌次
△立町一三 上妻助氏三男光男
△立町八五 橋久左衛門氏次女和子

婚姻

△三丁目 吳風商相原光太郎氏(二四) 石城郡四倉町長谷川孝子(二三)

死亡

△南町四三 吉田善子(二〇)
△杉平二〇 當時北海道札幌市北九條川口保廣(一七)

常磐片々

知事公閣下が平町で國産品の提灯持ち
夫れには及びませんが、安くて良ければダマツテ居ても買えますよ

平署では監督者會議を開いて合議制で行かうと云ふのに三井炭礦では二三の者のみの相談で千數百の首が飛び、茲許「官僚」の宿替ひ

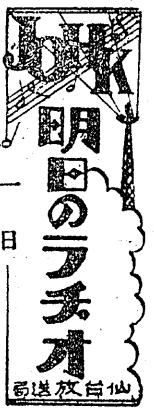
便利過ぎて命をとられた話勿來坑夫のダイナマイト慘死

廣告折込み及びチラシ全部、一手引受

御用命通り一戸も

折込は百枚に付十錢

常磐毎日新聞社



明日のラジオ 報豫氣天 今夜は南東の風 曇りがち雨模様 明日は南東の風 強く次第に晴れ 荒れ模様

- △前六・二〇 夏期獨逸語 講座(第十二回)武内大造 講者(健康講座)家 庭療法(第二回)醫學博 士矢部專之助 △前九・一〇 『料理献立』 『枝豆腐のあんかけ』宮 城縣第二高等女學校發表 日用品値段 『御贈答用 品類』 △前一〇・三〇 家庭講座 『夏休中の兒童衛生』醫學 博士岡田道一 △後〇・〇五 落語『ハン カチ』桂小文治 △後六・〇〇 子供の時間 お話『水河』藤本九三 △後六・三〇 水産講座『魚 類』

魚の餌の素

プランクトンに就て 水産試験場技師 丸川久俊

潮水や海水の中には必ず多 少は鹽分が溶けてゐるのみ でなく、殆ど我々の肉眼で は認むることの出來得ない 微細な砂泥や顯微鏡的の 存在するものがあるから其れ等の物體から反 射する光も澤山ある此の浮 游小物こそは之をプランク トンと稱し動物に屬するも のもあれば植物に屬するも のもある、彼等は水のまに 風のままに水中に浮 泛しつゝ生活してゐるので ある 彼等は 其の生活上

現象は

水中に存す。プラ イク トンを食物にしてゐるから である。プランクトンに依 つて起る經濟的 現象は 種々ある例 へば水中に螢の如き火を發 する生物があるが體長四五 厘の『コビリヤ』と云ふもの で暖水帯に生息してゐる故 にこの水のある處は鯉漁場 家庭講座

夏休中の兒童衛生

夏休中は兎角懈怠になり不 規則になつてそれが爲め、 からだを破すやうなことが 往々あります。夏季休暇中 は心身の鍛錬時でありませ ず、飲食はごうして宜いか起居 は何うして宜いか、遊戯は 何うして宜いかいづれにし て規則正しい習慣の下に 夏を過ぎねばなりません。 かうして秋登校の際には真 に健兒の名に背かない健康 を有つて新たな教場に知 識を磨くべきであります。 いつも同じことでありませ ず、湖沼池水の水の華と稱 するは即ち或る種の植物プ ランクトンが、一時に多数 殖集せるが爲め海洋に 現はれる赤潮の 如きも 或移動植ブ ランクトンの限られた種類 が一時的に無數に繁殖した 爲に生じた現象に外ならな い魚を蓄いて別に人間が餌 を與へないでも其生命を維 持して行くことの出来るの

放送舞台劇 身替音頭

大塔宮は六波羅征討の軍 を起しましたが戦ひ利あら ずして御姿をお隠しになり ました。若君は捕はれのお 身となつて、永井右馬頭 の屋敷に預けられました。 六波羅方では齊藤太郎左衛 門に命じて若君のお命をち ょめやうとしました。永井 夫婦は自分の子供の鶴千代 を身替りにしやうとして奥 庭で盆をどりを催してわざ と若君の衣裳を鶴千代に着 せてその群の中に入れてま した。太郎左衛門は鶴千代 を斬りませんでした。若君も 斬りませんでした。その群の 中から孫の力若の居るのを 発見して力若を斬つて若君 のお身替りにしたので、太 郎左衛門は六波羅方でも たゞ力若の父と母であり、 自分の婿と嫁である土岐藏 人が犬死をしてゐるのが不 憫さに孫の力若に身替りの 大功をだてさせたのでした

出 薄皮を取りすり鉢にて 十分にすりつぶします。次 に水解きした葛を少量づゝ 加へてはすり延し砂糖鹽に て味を整へ鍋に入れ火にか けて煮ます。此の時宮島 へラにて鍋底に焼付かぬ様 に注意して煮ます。火の 通るにしたがつて宮島が次 第に重くなりますが力を入 れてよく煮ます。十分に 火の通りました時濕布巾に 包み形を整へて流し箱等に 入れて冷し固めます。固り ましたら適當に庖丁して盛 り次に申し上げる餡を掛け 御生薑を添へて進めます。 餡は煮出汁に鹽醬油酒等に て普通の清し汁より少し濃 い目の味になして後汁二合 に對して片栗四匁の割合に て水解きしたのを加へ片栗 に火の通りました時下しま す。御好みによりまして餡 に線切の椎茸をあしらつて も宜しう御座います

看護婦急派 の求めに應じ ます

平町南町 平看護婦會 電話三〇七番



喫茶部新設

警城セメント會社特約店



釜屋商店 警城中町五丁目 電話九番 一三九番

外科專門 花柳病專門 木村外科醫院 入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番

コークス大々的値下斷行 從來一俵金壹圓貳拾錢ノ 東京瓦斯コークスヲ 金九十五錢ニ値下ゲ致シマシタ

一家ノ經濟ハ臺所カラ 使へ馴レ、バコークス程 經濟ナモノハアリマセン

配達迅速 御注文ハ一俵ヨリ御 届ケ致シマス

阿部石炭商店 電話七六六番 水野水室コークス部

貸切は
磐城タクシーへ
電話四五四番
平驛前

夏帽子の御用意は
一文字帽子
バナマ帽子
ビッケー帽子
麥子帽
買ひ
良き店
5丁目
モリタヤへ
電33

清楚な食道 サロン
田町通り
電三五二
清楚な
サロン
明るい
サロン
洋酒は
サロン

食事には サロン
奉仕は サロン
僕等の サロン

サロンの公休日は毎月「第三火曜日」に変更致しました

内科、小兒科、花柳病科
藤沼醫院
入院需應
平町紺屋町
電話長平五〇七番

貸家廣告
平町三丁目二八番地
元鈴木はき物店
二階建土藏店、勝手、座敷、倉庫
其の他附屬一切
右御希望の方は當方へ御來談下さい
鈴木宅

蓄音器の大市
提供價元々愈此際限り百壹
自七月廿五日
至八月廿五日
特賣期間
毎土曜日店頭にてレコードコンサート開催致します
どうぞ御聞き下さい
磐城銀行隣り
天地堂
音譜在庫品常に富豊



暑中御伺
福島縣平町材木町二番地
京屋洋服店
電話八二八番

吉町目
和久井屋
涼しい
藤椅子
寝臺と
卓子
簾屏風の
特賣廉賣

各種体温計
寒暖計
電器局
電話〇五番

淋病 梅毒 専門
腸虫病 十二指腸病 皮膚病 婦人病
松村村松
腸胃病 胃性病
院醫科 (七〇一話電町南平)

月やく止り。産見制限相談所
平町三丁目 宇佐美藥劑

耳鼻咽喉科専門
場所 (舊診療所裏通り)
合津醫院
平町仲田町(電話五五九)

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)

専門 内科一般
宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません
平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)
川井内科診療所
電話 七二二番
醫學士 川井重之
女醫 川井安子